

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成22年1月21日(2010.1.21)

【公開番号】特開2007-47232(P2007-47232A)

【公開日】平成19年2月22日(2007.2.22)

【年通号数】公開・登録公報2007-007

【出願番号】特願2005-229013(P2005-229013)

【国際特許分類】

G 0 9 G 5/00 (2006.01)

H 0 4 N 7/26 (2006.01)

G 0 9 G 5/36 (2006.01)

H 0 4 N 5/91 (2006.01)

【F I】

G 0 9 G 5/00 5 5 0 B

H 0 4 N 7/13 Z

G 0 9 G 5/36 5 2 0 D

G 0 9 G 5/00 5 3 0 H

H 0 4 N 5/91 Z

【手続補正書】

【提出日】平成21年12月1日(2009.12.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

主映像に同期して副映像を表示可能な符号化映像信号の復号化装置であって、
 該副映像の表示位置および / または表示サイズに関する表示補助情報および該表示補助
 情報を適用する適用時刻情報を含む補助情報を解析する補助情報解析手段と、
 映像の復号・表示の基準時刻を示す基準時刻カウンタと、
 上記適用時刻情報と上記基準時刻カウンタとを比較する比較手段と、
 主映像および副映像を用いて表示画面を形成する表示画面形成手段と、
 上記表示画面形成手段を制御する制御手段と、
 を備え、

上記制御手段は、上記比較手段の出力結果に基づいて、上記表示補助情報を用いて上記
 表示画面形成手段に指示を与えることによって副映像の表示位置および / または表示サイ
 ズを制御することを特徴とする復号化装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の復号化装置であって、
上記表示補助情報は、副映像の表示位置の移動に関する特殊効果再生情報を含み、
上記特殊効果再生情報は、
単位時間当たりの移動量と、
表示位置の適用を開始する適用開始時刻と、
表示位置の移動を適用する適用継続時間、または、表示位置の移動を終了する適用終了
時刻と、
を含むことを特徴とする復号化装置。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の復号化装置であって、
上記表示補助情報は、副映像の表示サイズの変更にに関する特殊効果再生情報を含み、
上記特殊効果再生情報は、
単位時間当たりの表示倍率の変化量と、
表示サイズの適用を開始する適用開始時刻と、
表示サイズの変更を適用する適用継続時間、または、表示サイズの変更を終了する適用終了時刻と、
を含むことを特徴とする復号化装置。

【請求項 4】

各フレームを一意に識別するフレーム ID を各フレームの符号化情報の中に含む符号化映像信号を復号化し、主映像に同期して副映像を表示可能な符号化映像信号の復号化装置であって、

上記副映像の表示位置および / または表示サイズに関する表示補助情報および該表示補助情報を適用する適用フレーム ID 情報を含む補助情報を解析する補助情報解析手段と、

上記符号化映像信号に含まれる各フレームのフレーム ID を解析するフレーム ID 解析手段と、

上記適用フレーム ID 情報と上記各フレームのフレーム ID とを比較する比較手段と、

主映像および副映像を用いて表示画面を形成する表示画面形成手段と、

上記表示画面形成手段を制御する制御手段と、
を備え、

上記制御手段は、上記比較手段の出力結果に基づいて、上記表示補助情報を用いて上記表示画面形成手段に指示を与えることによって副映像の表示位置および / または表示サイズを制御することを特徴とする復号化装置。

【請求項 5】

上記表示補助情報は、副映像の表示位置の移動に関する特殊効果再生情報を含み、

上記特殊効果再生情報は、

単位フレーム数当たりの移動量と、

表示位置の適用を開始する適用開始フレーム ID と、

表示位置の移動を適用する適用継続フレーム数、または、表示位置の移動を終了する適用終了フレーム ID と、

を含むことを特徴とする復号化装置。

【請求項 6】

請求項 4 に記載の復号化装置であって、

上記表示補助情報は、副映像の表示サイズの変更にに関する特殊効果再生情報を含み、

上記特殊効果再生情報は、

単位フレーム数当たりの表示倍率の変化量と、

表示サイズの適用を開始する適用開始フレーム ID と、

表示サイズの変更を適用する適用継続フレーム数、または、表示サイズの変更を終了する適用終了フレーム ID と、

を含むことを特徴とする復号化装置。

【請求項 7】

請求項 1 または 4 に記載の復号化装置であって、

上記表示サイズは、表示画像の水平および垂直の各画素数によって表現されることを特徴とする復号化装置。

【請求項 8】

第一の符号化映像信号を復号化し、

第二の符号化映像信号を復号化し、

前記復号化された第二の復号化映像信号の、表示手段への表示位置および / または表示サイズに関する情報を制御し、

前記表示手段への表示位置および / または表示サイズに関する情報に対応し、前記第二

の復号化映像信号を前記第一の復号化映像信号へ同期させる復号化方法。

【請求項 9】

第一の符号化映像信号と第二の符号化映像信号が記録される記録媒体であって、
前記第一の符号化映像信号と前記第二の符号化映像信号を復号化し、第一の映像信号に第二の映像信号を同期し表示するよう、前記第二の映像信号の表示位置および / または表示サイズならびにそのタイミングに関する情報が記録されている記録媒体。

【請求項 10】

表示手段と接続可能な復号化装置であって、
第一の符号化映像を復号化する第一の復号化部と、
第二の符号化映像を復号化する第二の復号化部と、
前記第一の復号化映像を表示手段に出力するときに前記第二の復号化映像を同期し表示手段に出力する出力部と、
前記第一の復号化映像に同期し前記第二の復号化映像を表示手段に出力するときの、前記第二の復号化映像の表示手段への表示位置および / または表示サイズならびにその適用時刻に関する補助情報を解析する解析部と、
前記第一の復号化映像の出力時刻を示す時刻カウンタと、
前記適用時刻と前記カウンタの示す出力時刻とを比較する比較部と、
前記比較部の比較および前記補助情報に応じて前記第二の復号化映像を前記第一の復号化映像に同期し出力するよう前記出力部を制御する制御部と、を有する復号化装置。

【請求項 11】

表示装置と接続可能な復号化装置であって、
第一の符号化映像を復号化する第一の復号化部と、
第二の符号化映像を復号化する第二の復号化部と、
前記第二の復号化映像の位置、サイズおよび適用時刻に関する情報を処理する処理部と、
前記第一の復号化映像に前記第二の復号化映像を重畳する表示画面形成部と、
前記処理部が処理した情報に応じて前記表示画面形成部を制御する制御部と、
前記表示画面形成部で形成された映像を出力する出力部と、
を備えてなることを特徴とする復号化装置。

【請求項 12】

表示装置と接続可能なディスク装置であって、
ディスクから映像信号を再生する再生部と、
前記再生部で再生された第一の符号化映像を復号化する第一の復号化部と、
第二の符号化映像を復号化する第二の復号化部と、
前記第二の復号化映像の位置、サイズおよび適用時刻に関する情報を処理する処理部と、
前記第一の復号化映像に前記第二の復号化映像を重畳する表示画面形成部と、
前記処理部が処理した情報に応じて前記表示画面形成部を制御する制御部と、
前記表示画面形成部で形成された映像を出力する出力部と、
を備えてなることを特徴とするディスク装置。

【請求項 13】

主映像に同期して副映像を表示可能な符号化映像信号の復号化方法であって、
該副映像の表示位置および / または表示サイズに関する表示補助情報および該表示補助情報を適用する適用時刻情報を含む補助情報を解析する補助情報解析ステップと、
映像の復号及び表示の基準時刻を示すカウンタからの基準時刻と上記適用時刻情報とを比較する比較ステップと、
主映像および副映像を用いた表示画面の形成を制御する制御ステップと、を含み、
前記制御ステップは、上記比較ステップの出力結果と上記表示補助情報とに基づいて、副映像の表示位置および / または表示サイズを制御するステップを含むことを特徴とする復号化方法。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】復号化装置、ディスク装置、復号化方法、及び、記録媒体